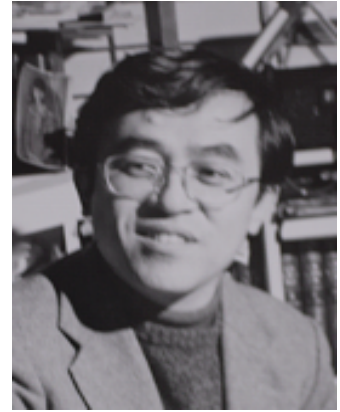


の ろ く に の ぶ
野 呂 邦 暢

* 昭和12年9月20日 長崎市生まれ

* 昭和55年5月7日 没（42歳）



○ 略歴

敗戦前に諫早市へ疎開、原爆で長崎の自宅が焼失したため、そのまま諫早に居住。高校卒業後上京し、さまざまな職につく。

昭和32年 陸上自衛隊入隊
(20歳)

昭和33年 除隊し帰郷 諫早に居を構え執筆活動に入る
(21歳)

昭和40年 「ある男の故郷」が文学界新人賞佳作に入選
(28歳)

昭和41年 「壁の絵」が芥川賞候補に挙がる
(29歳)

昭和49年 自衛隊体験をもとに書き上げた「草のつるぎ」で第70回芥川賞受賞
(37歳)

昭和51年 幕末の諫早を舞台にした「諫早菖蒲日記」を発表
(39歳)

諫早の風土を原風景とした詩情豊かな作品の他、古代史や音楽、美術など幅広い分野について多数執筆

○ 主な受賞歴

昭和40年 文学界新人賞佳作 「ある男の故郷」

昭和49年 第70回芥川賞 「草のつるぎ」

○ その他の代表作

海辺の広い庭（昭48）、鳥たちの河口(昭48)

愛についてのデッサン(昭54)、落城記(昭55)